

## ファームウェアV1.30の新機能

ファームウェアV1.30より、次の機能が追加されました。

- テイク名のファイル番号のを初期化機能の追加 (TAKE No. INIT)
- イレースフォーマット機能の追加
- 内蔵スピーカーの出力設定機能の追加
- マルチトラック素材の再生対応の追加

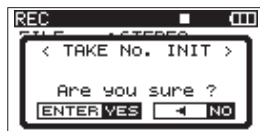
### テイク名のファイル番号の初期化機能の追加 (TAKE No. INIT)

テイク名のファイル番号を初期化する機能を追加しました。ファイル番号初期化を実行すると、以降録音されるテイク番号に000からの重複しない番号を付加します。

1. トップパネルのMENUキーを押して、“MENU” 画面を表示します。
2. トップパネルのDATAホイールを使って“REC”メニュー項目を選択（反転表示）し、トップパネルのENTERキーを押します。“REC”画面が表示されます。
3. トップパネルのDATAホイールを使って、“TAKE NO. INIT”項目を選択（反転表示）します。



4. トップパネルのENTERキーを押すと、確認のポップアップメッセージを表示します。

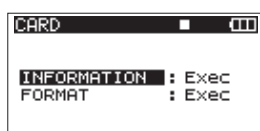


5. 再度ENTERキーを押すと、設定された文字に続く数字が“0000”から始まります。  
トップパネルの◀キーを押すと、“REC”画面の項目選択状態に戻ります。
6. フロントパネルのHOME/FUNCキーを押すと、ホーム画面に戻ります。

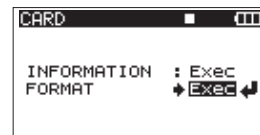
### イレースフォーマット機能の追加

SDカードのフォーマット機能に、従来のフォーマット方法に加えて「イレースフォーマット」を追加しました。

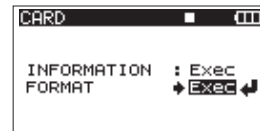
1. トップパネルのMENUキーを押して、“MENU” 画面を表示します。
2. トップパネルのDATAホイールを使って“CARD”メニュー項目を選択（反転表示）し、トップパネルのENTERキーを押します。“CARD”メニュー画面が表示されます。



3. DATAホイールを使って“FORMAT”項目を選択（反転表示）し、トップパネルの▶キーまたはENTERキーを押します。以下の画面を表示します。



4. ENTERキーを押すと、以下の画面を表示します。



5. 再度ENTERキーを押して、以下の画面を表示します。



6. DATAホイールを使って、以下の中から設定します。  
選択肢：“QUICK FORMAT”（初期値）、  
“ERASE FORMAT”

#### メモ

“ERASE FORMAT”を実行すると、繰り返し使用で書き込み性能が劣化したSDカードを復活させる可能性があります。

7. ENTERキーを押すと、確認メッセージがポップアップ表示されます。



[ “QUICK FORMAT” 選択時 ]



[ “ERASE FORMAT” 選択時 ]

8. 再度ENTERキーを押すと、フォーマットを実行します。

#### メモ

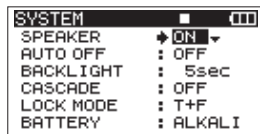
“ERASE FORMAT”を実行中にトップパネルの◀キーを押すと、中断（CANCEL）できます。その場合は、“QUICK FORMAT”と同じになります。

9. フォーマットが完了すると、“CARD”メニュー画面に戻ります。

## 内蔵スピーカーの出力設定機能の追加

内蔵スピーカーの出力設定機能を追加しました。  
工場出荷時、本機の内蔵スピーカーの出力設定はオンに設定されています。内蔵スピーカーの出力をオフにするには、“SYSTEM”メニュー画面の“SPEAKER”項目をオフにしてください。

1. トップパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。
2. トップパネルのDATAホイールを使って“SYSTEM”メニュー項目を選択（反転表示）し、トップパネルのENTERキーを押します。  
“SYSTEM”メニュー画面が表示されます。
3. トップパネルのDATAホイールを使って、“SPEAKER”項目を選択（反転表示）します。



4. DATAホイールを使って、以下の中から設定します。  
選択肢：“OFF”、“ON”（初期値）
5. トップパネルの◀キーを押すと、メニュー画面の項目選択状態に戻ります。
6. フロントパネルのHOME/FUNCキーを押すと、ホーム画面に戻ります。

### メモ

- ヘッドホンを接続すると、“SPEAKER”設定が“ON”に設定されていても、内蔵スピーカーから音は出力されません。
- 音を出す前は、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

## マルチトラック素材の再生対応の追加

従来のリビルド機能は、1つのファイルを1つのテイクにする機能でしたが複数のファイルを1つのテイクにすることが出来るようになりました。

これにより、DAWなどで作成したマルチトラック素材の再生が可能です。

操作手順は、従来どおりです。（取扱説明書の43ページ「フォルダ操作」）

複数のファイルを1つのテイクにするには、以下のルールを守ったうえで1つのフォルダーにファイルを置いてください。

- ファイルフォーマット（WAV / BWF / MP3）が同じ
- サンプリング周波数が同じ
- ビット長（WAV / BWFの場合16bitもしくは24bit）若しくはビットレート（MP3の場合）が同じ
- ファイルタイプ（ステレオ / モノラル）が同じ
- ファイルサイズが同じ
- ファイル名ルール（WAV/BWFの例）

モノラルファイルの場合

XXXX\_monoY.wav  
① ② ③

ステレオファイルの場合

XXXX\_stY.wav  
① ②③

- ①：テイク名部分（半角英数字10文字以内）
- ②：ファイルタイプ名（monoまたはst）
- ③：トラック番号（モノラルの場合は1から6までの数、ステレオの場合は1,2,3,4,5,6のいずれか）